

○ 令和2年度中央卸売市場事業会計予算について

1 市場事業会計の現状について

札幌市中央卸売市場における取扱額は、少子高齢化や、消費者ニーズの多様化、市場外流通の増加などにより平成10年度をピークに減少傾向で推移しております。

また、平成11年度から平成18年度まで実施した、市場再整備による施設・設備の減価償却費が高い水準で推移していることから、市場事業会計の収支は赤字が続いている状況です。

さらに、再整備事業に伴う企業債の元金償還が平成23年度から本格化しており、令和元年度にピークを迎えましたが、令和2年度以降も高い水準で推移しており、財政状況を圧迫することが予想されます。加えて、経年劣化が進む水産保冷配送センターや再整備事業初期の立体駐車場などの施設について、修繕費の増加が見込まれる状況から、今後も厳しい市場運営が続くものと予想しています。

2 令和2年度市場事業会計予算の概要

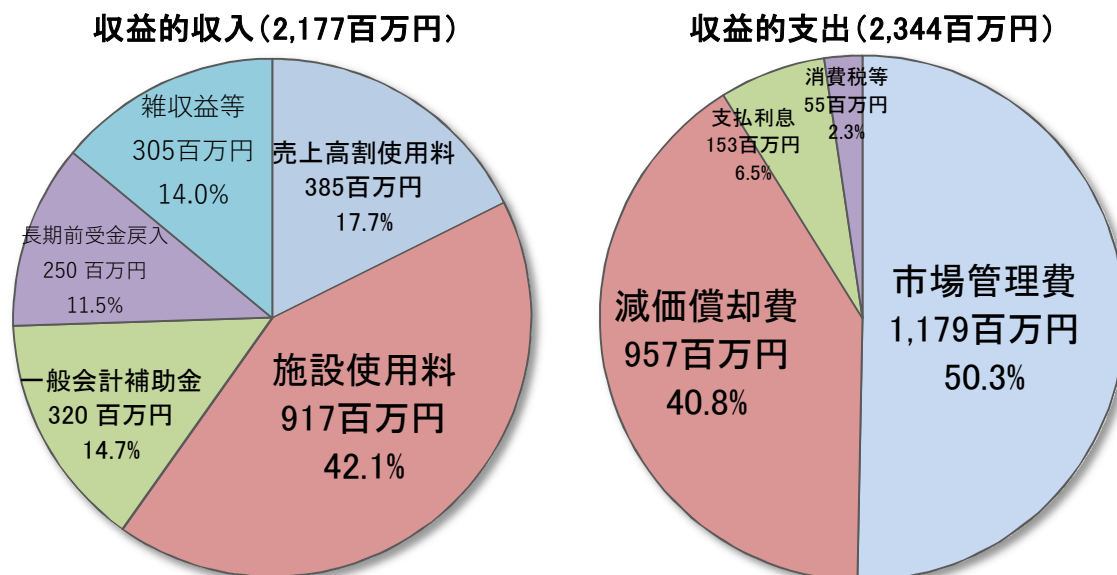
令和2年度市場事業会計予算の主なポイントは、次のとおりです。

(1) 市場整備

老朽化したガスヒートポンプ室外機などの機器類の更新を行います。

(2) 収益的収入及び支出の状況

令和2年度予算における収益的収入及び支出の状況は、下の円グラフのとおりですが、企業債利息や減価償却費の減などにより、令和元年度予算と比べて24百万円赤字幅が縮小しています。



注：円グラフの金額には、消費税及び地方消費税を含んでおります。